

## ターボ機械協会誌投稿規定

平成17年3月4日改訂

### 1. 会誌

本協会は会誌「ターボ機械」への会員からの投稿を歓迎する。

会誌の記事は、広く流体機械工業および工学に役立つことを目標とし、会員間における意志の疎通、最新知識の交換および相互の啓発に有効なものとする。

会誌は毎月発行する。この会誌で取り扱われるのは、ターボ（含容積形）機械に関する諸問題のほか、その周辺領域の諸問題のすべてを含む。

主な項目は下記の通り。

- (イ)性能、流れ
- (ロ)内部流れ
- (ハ)過渡現象および非定常問題
- (ニ)振動、騒音
- (ホ)性能試験法、流れの計測、実験法
- (ヘ)軸封装置、軸受、その他の機械要素
- (ト)据付、運転、保守
- (チ)材料の特性および選定
- (リ)生産技術上の問題
- (ヌ)ターボ機械を含むプラント、システム
- (ル)その他ターボ機械に関連する上記以外の問題

### 2. 投稿規定

- (1) 掲載された記事の著作権は原則として本協会に帰属する。ただし、著者自身が自分の記事を利用することは原則として妨げない。
- (2) 使用言語は原則として日本語とするが、英語でもよい。
- (3) 投稿原稿の分類およびページ数は3項の原稿の分類・定義による。
- (4) 論文の投稿は原則として会員に限る。

ただし、非会員（外国人を含む）が論文を投稿する場合は会員一人以上の推せんを必要とする。

論文以外の記事（3. 原稿の分類・定義参照）は必ずしも会員に限らず、協会からの依頼により会員以外からも投稿を受ける。

- (5) 論文投稿料は論文1編3万円（図表含め7ページ以内）で、1ページ増について5千円を加算する。フロッピーディスクで投稿した論文で、図表もそのまま印刷可能な場合は、1編（図表含め7ページ以内）2万円とする。但し、超過ページ分は前者と同じとする。

展望・解説、講座の記事に対しては、協会規定の原稿料を支払う。なお別刷10部を

進呈する。進呈部数以上の別刷を必要とする場合は、著者は別に定める別刷料を支払うものとする。

- (6) 投稿された論文の採否は次の点に着目して編集委員会で決定する。また、論文以外の記事はそれに準じて採否を決定する。
  - (a) 工業上の有用性、(b) 工学に対する寄与度、(c) 独創性または新規性、(d) 内容の信頼性、(e) 原稿の完成度、(f) 在来研究との関連、(g) 目的と結果の明確さ
- (7) 編集委員会は著者に分類の変更、内容の訂正および短縮を求めることができる。
- (8) 内容の訂正や短縮を求められた場合は、著者はその日から2ヶ月以内に訂正や短縮の上、原稿を編集委員会に提出すること。期限内に提出されない時は最初の原稿受付日は無効とする。
- (9) 掲載原稿の校正は著者校をもって校了とする。
- (10) 投稿希望者は内容分類、題名、著者名、勤務先、連絡先、投稿予定日および会員資格を記入の上、協会宛投稿を申し込むものとする。原稿表紙、執筆要領などは申し込み次第送付する。
- (11) 論文として投稿する場合は校閲用に2部、その他の記事に対しては1部のコピーを原稿に添付すること。なお、著者の手元にはコピー1部を必ず保存しておくこと。
- (12) 原稿の作成は別に定める執筆要領による。また、原稿には協会より送付した原稿表紙に所定の記載事項を記入したものを添付すること。英文タイトル、英文著者名は執筆要領に従い活字体で記入すること。
- (13) 原稿送付先  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6丁目3番26号  
ターボ機械協会

### 3. 原稿の分類・定義

#### (1) 論説（4ページ以内）

ターボ機械およびそれに関連する事柄について、著者の意見、感想、経験などを簡潔に記述したもの。特集号巻頭言など。

#### (2) 展望・解説（6ページ以内）

ターボ機械およびそれに関連する主題について、歴史的背景、最近の動向、将来予測を客観的立場から展望したもの。また新しく開拓され、あるいはされつつある研究分野、技術分野、機器、応用例などにつき解説したもの。また、研究成果を実際の設計、製作へ応用するための解説を含む。

#### (3) 論文（原則7ページ以内、ただし10ページまでの超過は許容し別項に定める超過料を徴収する）

理論または実験に関する原著論文であって、実際面への応用価値を重視し、主要部分が他の刊行物に未発表のものに限る。

- (4) 技術資料（４ページ以内）  
実験、研究、開発もしくは実際の機械の計画、設計、製作、運転、保守などの参考となる資料。
- (5) 講座（６ページ以内）  
教科書または文献だけでは十分な理解が得られないテーマについて体系的に平易な記述を行う。数回の連載の場合もある。
- (6) 分科会報告（６ページ以内）  
分科会活動の成果をまとめたもの。
- (7) 座談会記事（６ページ以内）  
本協会で開催した座談会について、その要点をまとめた記事。
- (8) 文献抄録・書評（１ページ以内）  
関連する重要文献・書物の紹介および評論。
- (9) 製品紹介（２ページ以内）  
ターボ機械およびその関連機器で、特に画期的なもの、新たに開発、製品化されたもの、新たにシリーズ化されたもの、新たな用途に使用されたものなどの紹介記事。著者は本協会会員または特別会員に限る。
- (10) 研究室紹介（２ページ以内）  
内外のターボ機械に関連する研究所、研究室の紹介。
- (11) 随筆・サロン（２ページ以内）  
会員に親しみやすい広く自由なテーマについて書かれた小論、随筆など。
- (12) 会員の声（１ページ以内）  
関連する諸問題についての質問または意見、本会の運営や企画（講習会、座談会、見学会など）についての要望、会誌に関する意見または要望。掲載記事（特に研究など）についての会員からの討論、質問。
- (13) 見学記（４ページ以内）  
内外の学校、研究所、プラント設備、見本市、展示会などの見学記。
- (14) 会議報告（４ページ以内）  
ターボ機械に関連する国内外の会議や付随行事の報告。
- (15) その他  
会告および関連する各種ニュース、案内など。

上記の項目(1)～(15)のいずれにも該当しない記事でも、編集委員会で適当と判断されたものは会誌に掲載することができる。なお、必要に応じ適宜分類項目（例えばシリーズ等、…）をもうけることができる。